

【各教科のグランドデザイン】

家庭科

何ができるようになるか

○家庭科で育成する資質・能力

- 日常生活に必要な家族や家庭、衣食住、消費 や環境等についての基礎的な理解と技能
- 日常生活の中から問題を見出して課題を設定し、課題を解決する力
- 家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度

何が身に付いたか

○家庭科の学習評価

- 生活の自立の基礎として必要な衣食住についての理解と技能
- 日常生活の中から問題を見出し、課題を設定する力
- 家庭生活を大切にしている心情
- 家族や地域の人々と関わり、協力しようとする力

子ども達の実態

- 前向きに考え友達と協力して活動できる子が多い。
- ICTを活用して、調べたりまとめたりする子が得意な子が多い。
- 学習したことを日常生活に活用する意識に課題がある。

子ども達の発達をどのように支援するか

○配慮を必要とする子どもへの指導

- 実践的・体験的な活動を通して、考えるようにする。
- ペアやグループで話し合いや活動を行い、個々の特性に応じて配慮する。

目指す子ども達の姿

- 目的意識をもち、計画的に課題解決に取り組む。
- 工夫・改善しながらよりよく課題解決しようとする。
- 学んだことを振り返り、生活に進んで生かそうとする。

何を学ぶか ○家庭科の教育課程の編成

- A 家族・家庭生活
- (1)自分の成長と家族・家庭生活 (2)家庭生活と仕事
 - (3)家族や地域の人々との関わり
 - (4)家族・家庭生活についての課題と実践
- B 衣食住の生活
- (1)食事の役割 (2)調理の基礎 (3)栄養を考えた食事
 - (4)衣服の着用と手入れ
 - (5)生活を豊かにするための布を用いた製作
 - (6)快適な住まい方
- C 消費生活・環境
- (1)物や金銭の使い方と買物 (2)環境に配慮した生活

どのように学ぶか ○家庭科の授業の実施

- 生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力の育成を目指す。
- (1) 授業のつながり
 - ・各教科・道徳・総合・特活などの学習や活動と関連させて取り組む。家庭科の学習対象である生活事象を、「協力・協働」、「健康・快適・安全」、「生活文化の継承・創造」、「持続可能な社会の構築等」の視点でとらえ、生涯にわたって、自立し共に生きる生活を創造できるよう、よりよい生活を営むために工夫しようとする資質・能力を育成する。
 - (2) 人とのつながり
 - ・家族・地域の人々との関わりを考え、課題を解決したり、家庭実践の計画を立て取り組んだりする。
 - (3) 「学びの場」のつながり
 - ・身に付いた資質・能力を家庭で実践しようとしたり、次の題材や単元で生かそうとしたりする。また、中学校での学びの場で生かせるように、小中連携の視点を充実させる。中学校との情報交換など

実施するために何が必要か ○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働

- 題材を貫く学習活動にするために、相手意識・目的意識を明確にした学習計画を立てる。
- 衣食住に係る知識及び技能を身に付けるだけでなく、日常生活に活用できるようにする。
- 必要に応じて、家庭・地域と関連付けて協働的に調べたり表現したりできるような学習内容を計画する。

各教科等横断的な視点に立った資質・能力の育成

- 他教科との関連を積極的に図り、指導の効果を高める。(例えば給食との関連を図ることによって、栄養バランスに気付くなど) ○道徳との関わりを明確にし、日常生活へのよりよい活動につながるようにする。○ICTの活用(情報収集・取材や実際に話す場面での活用) ○汎用的な資質・能力